

# 吉野瀬川ダムの治水・利水・環境計画について

平成16年5月20日

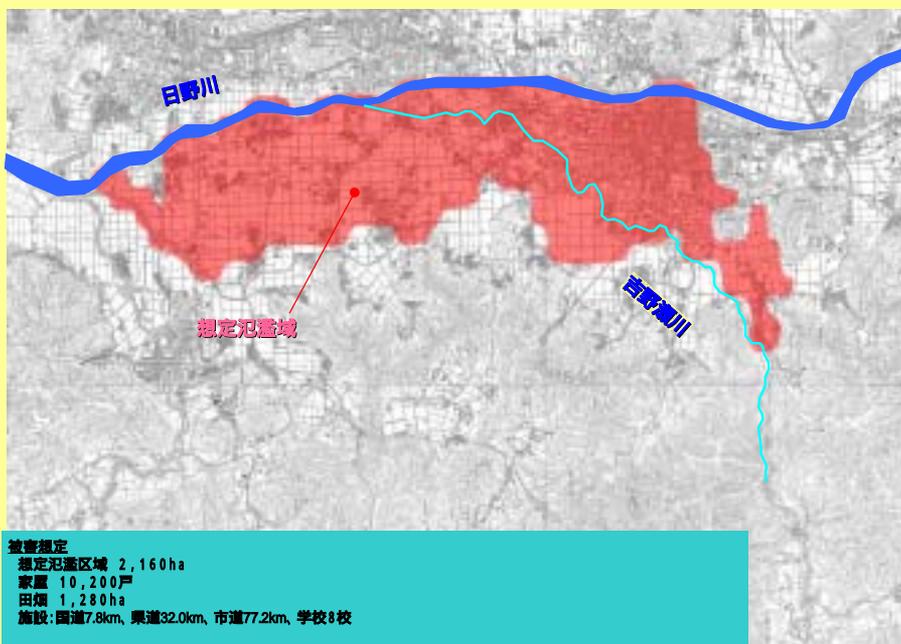
治水

## 計画規模について

「建設省河川砂防技術基準(案)同解説 計画編」による計画規模の目安

河川の重要度	計画の規模 (確率年)	備考
A 級	1 / 200年以上	1 級河川の主要区間
B 級	1/100年 ~ 1/200年	
<b>C 級</b>	<b>1/50年 ~ 1/100年</b>	<b>1 級河川のその他の区間 および 2 級河川の都市河川</b>
D 級	1/10年 ~ 1/50年	2 級河川の一般河川
E 級	1/10年以下	

## 想定氾濫区域

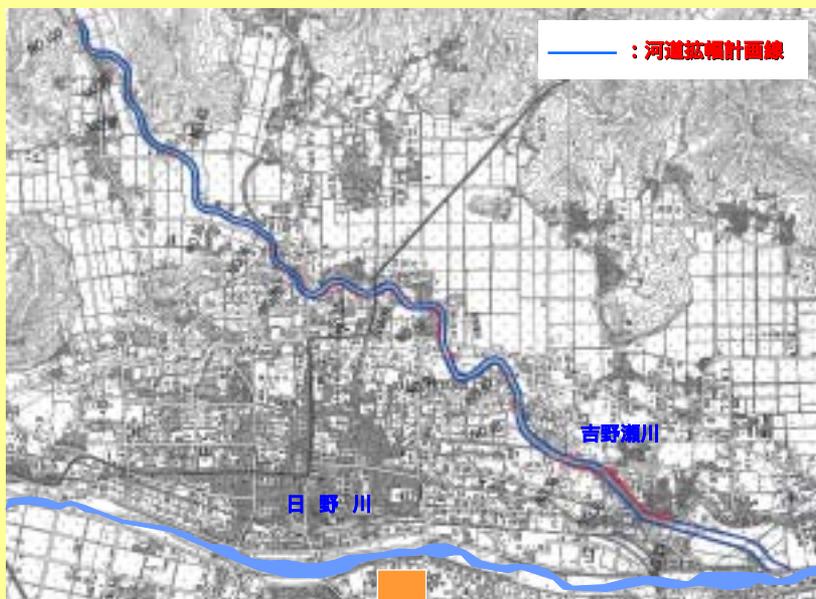


(平成10年9月23日)



## 治水対策案の検討

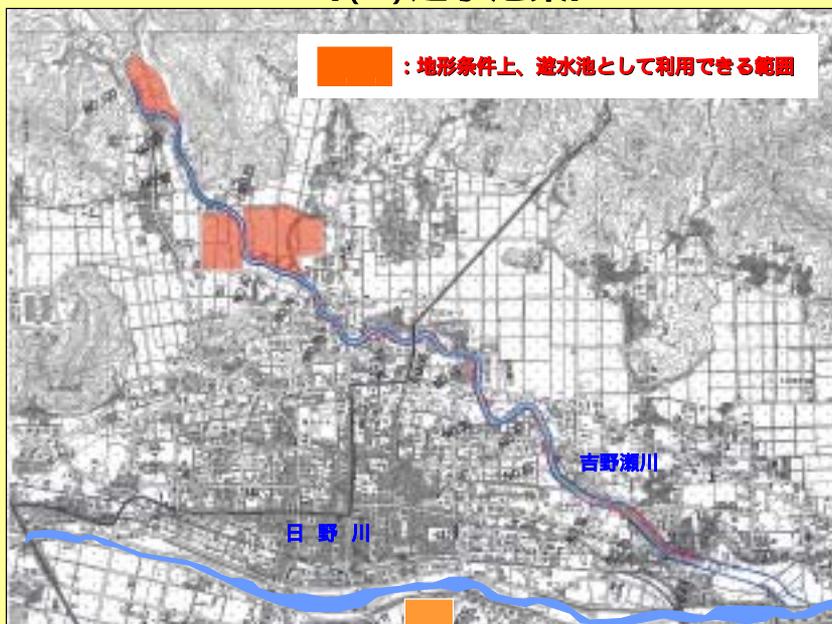
### 【(1)河川改修案】



多数の物件補償が必要となり、社会的影響を考慮すると、河川改修のみでの対応は現実的ではない。

## 治水対策案の検討

### 【(2)遊水池案】



多くの水田を潰すことで社会的影響が大きいこと、また河川改修が  
ともない現実的ではない

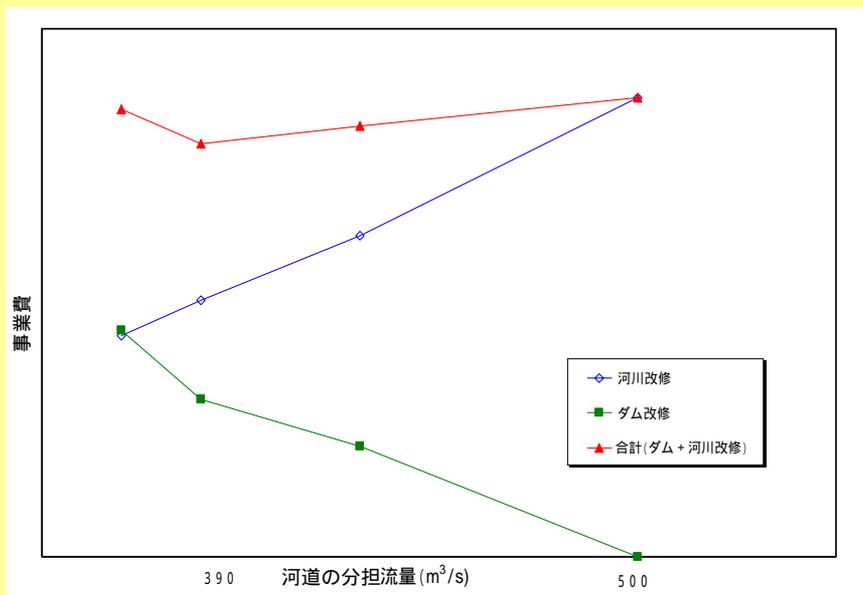
## 治水対策案の検討

### 【(3)ダム案】



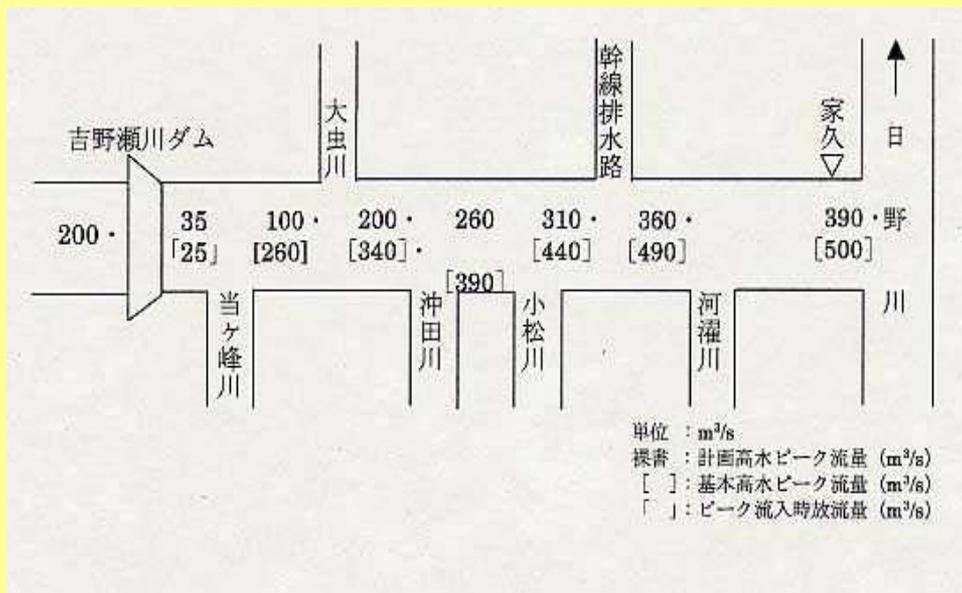
**ダム案については物件等少なく社会的影響は少ないので採用した**

## 河道の最適分担流量



**ダムと河道改修により、基準点計画高水流量  
390m³/sとする治水対策が最も経済的**

## 流量配分図



利 水

# 過去の湯水

## 過去の新聞記事



## 平成6年 大湯水の状況

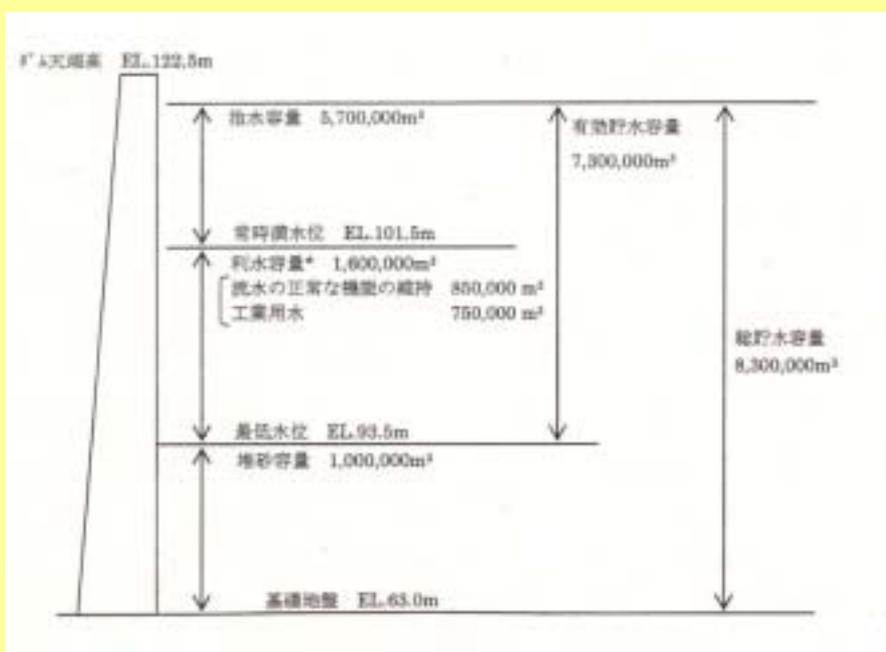


## H6年の取水制限の状況

7/14~ 8/24	10%の減圧給水
	プール使用禁止
干ばつ被害 (推定1.6百万円)	



## ダムの容量配分図



# 環境

## 事業地周辺環境

項目	主な貴重種
植物	オオミズゴケ、キキョウ、イトトリゲモ、ヤマトミクリなど
鳥類	ミサゴ、オオタカ、クマタカ、ハヤブサなど
両生類	アベサンショウウオ、モリアオガエルなど
魚類	アカザ及びメダカ

## 環境保全

### 吉野瀬川ダム自然環境検討会

**目的：** 吉野瀬川ダム周辺における、自然環境と事業調和をはかるための適切な対策について検討することを目的とする

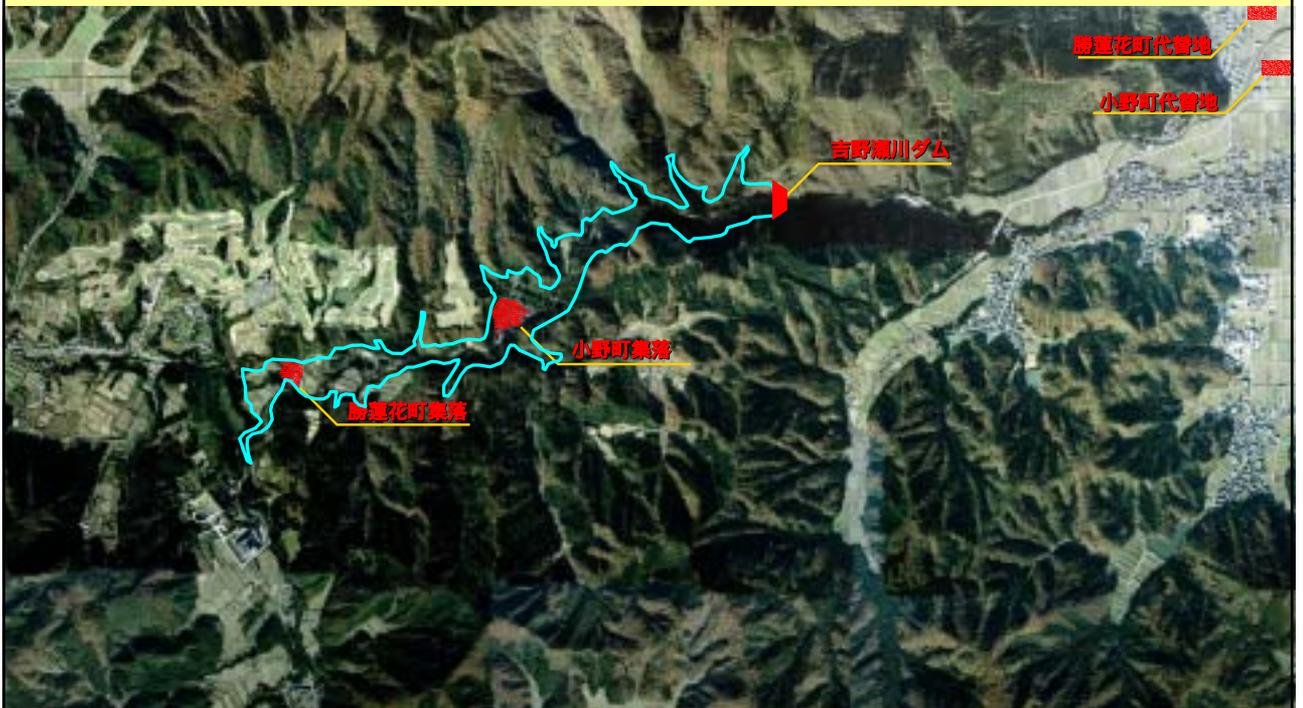
**構成：** (猛禽類部会) 林 武雄 (財)日本野鳥類保護連盟理事 ほか6名

(両生類・植生部会) 松井 正文 両生類研究家(京都大学教授) ほか6名

**専門家らで構成する吉野瀬川ダム自然環境検討会の中で指導と助言を得て保全計画を作成し、対策を実施している**

# 現在のダム事業 進捗状況

## 水没地の移転状況



## 移転用地状況



小野地区移転用地状況



勝蓮花地区移転用地状況



